

# 「演じる活動」の手引き

本研究では、登場人物の気持ちの変化や性格、情景を、具体的に想像することができる児童を育成するために、「登場人物になって演じる」という学習活動を取り入れました。紹介する事例は次の3点です。

- **D** ロールプレイ
- **E** 質問コーナー  
(インタビュー)
- **F** 静止画

なお、ここでの演じる活動とは、誰かに見せることを目的としたものではなく、物語を読み表現することで、登場人物の気持ちや場面の様子などを具体的に想像するための活動です。登場人物になってみて、やってみて、考えていく過程を繰り返し行っていくします。

その際、指導者は児童が物語の世界に入り込めるような場を設定して、サポートをしていくこととなります。

# D ロールプレイ

～自分ではないものになって演じてみる～

【目 的】	・ 登場人物の気持ちや情景を具体的に想像すること。
【準 備】	・ 叙述を読み、登場人物の気持ちや情景が想像できるところを事前に一人読みで押さえておく。 ・ 全体で「場面」と「登場人物」の設定を押さえておく。
【教師の役割】	・ 教師は、話者兼ファシリテーターとなる。
【活 動 形 態】	・ 2人～6人程度。(一人二役等も可能)



- ・ 教師は、話者となり物語の叙述を読み上げます。
- ・ 児童には、話者の言葉を聞きながら、感じたことや考えたことをつぶやいたり、動いたりしてよいことを伝えましょう。

△△になってみたことで、場面の様子が具体的に想像できたよ。



□□という気持ちになったよ。登場人物の〇〇も同じように感じていたのかもしれないな。



- ・ 活動後に、登場人物になってみたことで、どのような気持ちが出て、どのようなことを考えたかを尋ねましょう。

【活 動 後】	・ 叙述に戻り、登場人物の気持ちや情景で具体的に想像できたことを記述する。
【振 り 返 り】	(予想される児童の反応) ・ 登場人物になってみることで、その登場人物の周りで起こることが自分のことのように思えて、気持ちがよく分かるようになった。

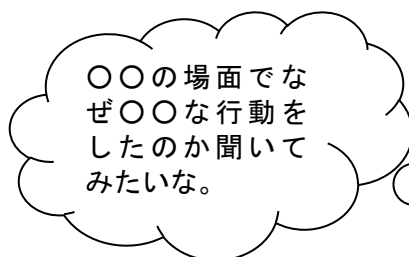
# E 質問コーナー（インタビュー）

～登場人物になって質問したり、答えたりする～

【目 的】	・登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わり と結び付けて具体的に想像すること。
【準 備】	・叙述を読み、登場人物の気持ちについて質問したいことを一 人読みで 10 個程度考えておく。 ・学級全体で全場面の登場人物の様子を押さえておく。 ・一人が登場人物になり、もう一人がインタビュアーになる。
【教師の役割】	・教師は、質問のやり取りの例を全体に示し、児童に活動の見 通しをもたせる。活動中は、各グループを回り質問が出なく なったり、答えられなくなったりした児童がいた場合、助言 する。
【活 動 形 態】	・ 2 人。



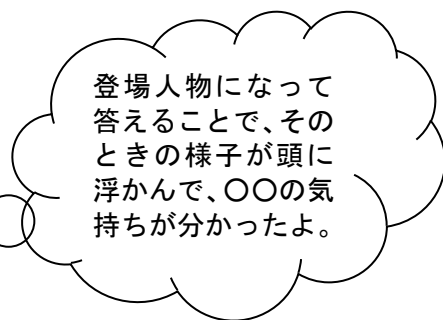
- ・叙述を基に事前に質問を考えておくことで、物語の内容に関連した質問となります。
- ・登場人物になったまま想像したことを答えることで、登場人物の気持ちをより深く理解することにつながります。



インタビュアー



登場人物



- ・物語の内容に関連していれば、やり取りの中で思い付いた質問をしてもよいです。会話を途切れさせずに続けましょう。

【活 動 後】	・叙述に戻り、登場人物の気持ちや情景で具体的に想像できたことを記述する。
【振 り 返 り】	(予想される児童の反応) ・登場人物の気持ちを前の場面のことを思い出しながら答えなくてはならないので、場面の移り変わりと結び付けて答えることができた。

# F 静止画

～止まった状態で、質問に答えて自分の気持ちを語ったり、状況を説明したりする～

【目 的】	・登場人物の気持ちや情景を具体的に想像すること。
【準 備】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・叙述を読み、登場人物の気持ちや情景が想像できるところを一人読みで事前に押さえておく。</li> <li>・全体で「場面」と「登場人物」の設定を押さえておく。</li> <li>・登場人物の様子を一枚の静止画に表現するというイメージを全体で共有する。</li> </ul>
【教師の役割】	・教師は、各グループの工夫した点を尋ねて、価値付けるようにする。
【活 動 形 態】	・3人～6人程度。



- ・教師は「あなたは誰（何）ですか。」「何をしているところですか。」「今、どんな気持ちですか。」と尋ねて、各グループを回しましょう。
- ・友達と協力して一枚の静止画を作るので、演じることが苦手な児童も抵抗なく参加できます。

場面の様子が伝わるように、友達と協力して作ることが楽しいな。

登場人物の気持ちを想像してみよう。



物になってみることで、登場人物の様子を客観的に捉えることができたよ。

【活 動 後】	・叙述に戻り、登場人物の気持ちや情景で具体的に想像できたことを記述する。
【振 り 返 り】	<p>(予想される児童の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の気持ちや様子が最もよく分かるように、友達と話し合いながら一枚の静止画にすることができた。</li> </ul>